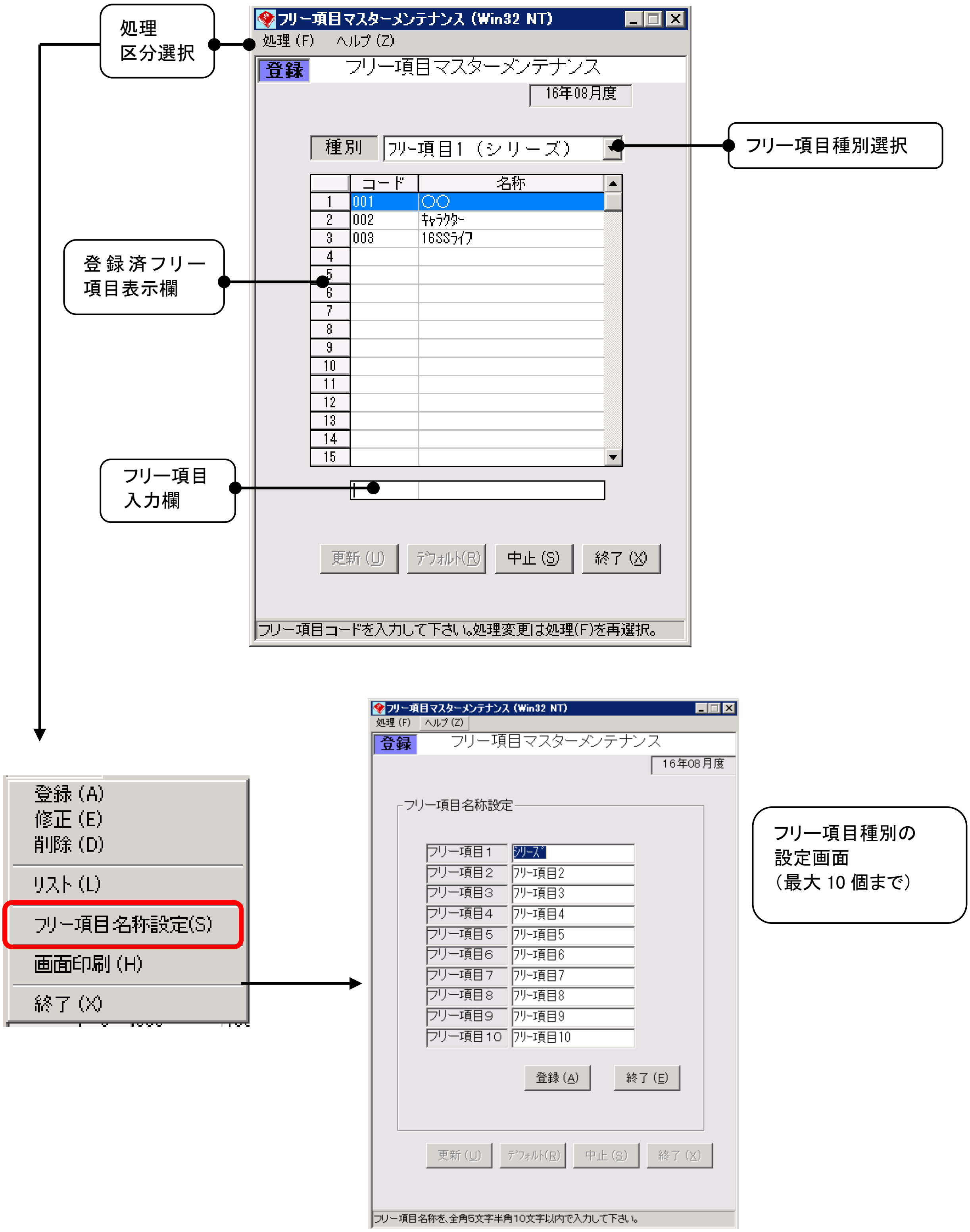
Ⅰ-14　フリー項目マスター

フリー項目マスターの役割

フリー項目マスターとは、NBS の出荷管理、Shop 運営管理における共有マスターです。
売上確認時などにフリー項目を使用して、商品の絞り込みが可能です。

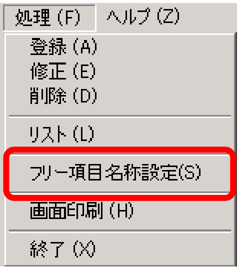


Ⅰ-14-1 フリー項目マスター ［フリー項目名称設定］処理

[フリー項目名称設定]処理説明

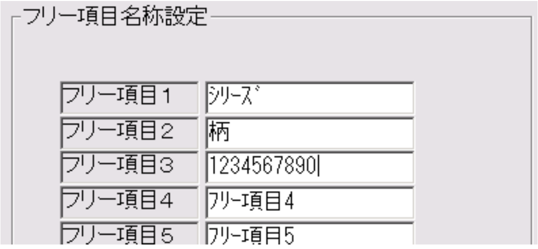
ここではフリー項目名称設定について説明します。

操作説明



1. 処理区分の選択
   左上の[処理(F)]から[フリー項目名称設定(S)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。
   既に登録されている場合や変更しない場合は次のページに進みます。

2. フリー項目名称の設定
   全角 5 文字(半角 10 文字)まで入力可能です。

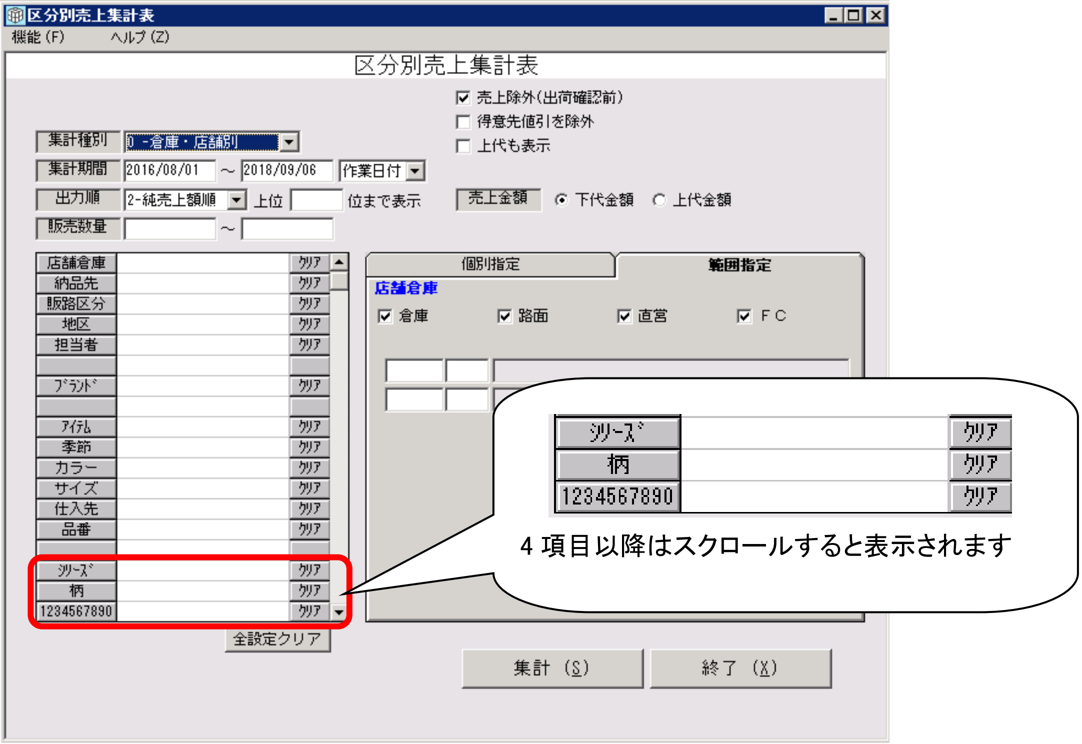


3. 登録ボタン
   設定したフリー項目名称を登録します。

4. 終了ボタン
   最初の画面に戻ります。

ここで設定した名称が帳票類の出力条件選択時に表示されます。
（※フリー項目がない帳票もあります）

（例：区分別売上集計表）



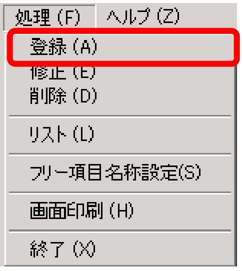
Ⅰ-14-2 フリー項目マスター［登録］処理

[登録]処理説明

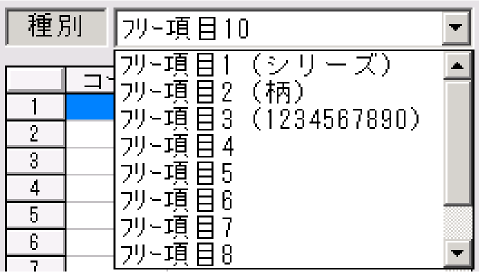
ここではフリー項目内容の登録について説明します。

操作説明

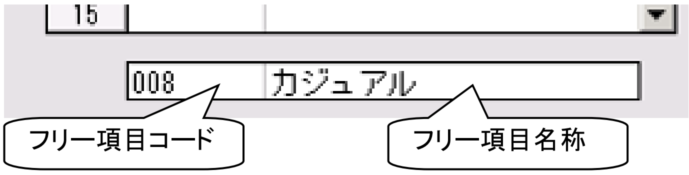
1. 処理区分の選択
   初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から
   [登録(A)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。



2. 種別の選択
   フリー項目の種別を▼を押して表示される一覧から選択します。
   Ⅰ-14-1 で設定したフリー項目名称が( )内に表示されます。



3. フリー項目内容コード・名称の入力
   コードは 6 桁以内の英数字で入力します。またコードの長さは統一することをお勧めします。
   名称は全角 10 文字(半角 20 文字以内、但し処理によって全て表示されない場合があります)で入力します。



4. 更新ボタン
   入力したデータを登録します。
   更新ボタンが押せない場合はコード名称の入力欄をクリックし、Enter キーを押してください。

5. 中止ボタン
   入力データを消去し、入力前に戻します。

6. 終了ボタン
   終了します。

※登録されたフリー項目は登録直後には一覧の一番下に登録されますが、種別の再選択時や
フリー項目マスターを再び開くとコード順になります。

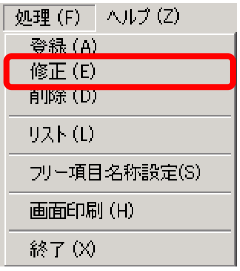
Ｉ-14-3　フリー項目マスター［修正］処理

[修正]処理説明

ここではフリー項目の修正について説明します。

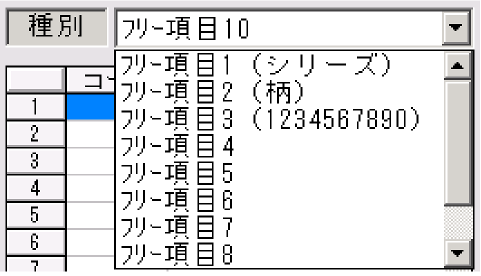
★コードは変更不可です！！

操作説明



1. 処理区分の選択
   初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から
   [修正(E)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。

2. 種別の選択
   フリー項目の種別を▼を押して表示される一覧から選択します。
   Ｉ-14-1 で設定したフリー項目名称が(　)内に表示されます。



3. 修正項目の選択
   修正したい項目を一覧から選択します。フリー項目コード・名称欄に選択したデータが表示されます。
   ※修正できるのは名称のみで、コードは変更できません。
4. フリー項目内容名称の変更
   名称は全角 10 文字(半角 20 文字以内)で修正します。
   ※但しフリー項目の名称が長い場合、処理によって全て表示されないことがあります。
5. 更新ボタン
   修正したデータを登録します。
6. 呼出時ボタン
   修正したデータを消去し、修正前に戻します。
7. 中止ボタン
   修正したデータを消去し、コード選択前に戻します。
8. 終了ボタン
   終了します。

Ⅰ-14-4 フリー項目マスター［削除］処理

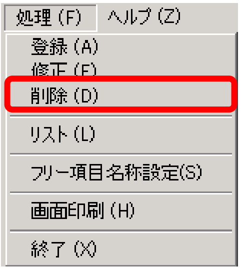
[削除]処理説明

ここではフリー項目の削除について説明します。

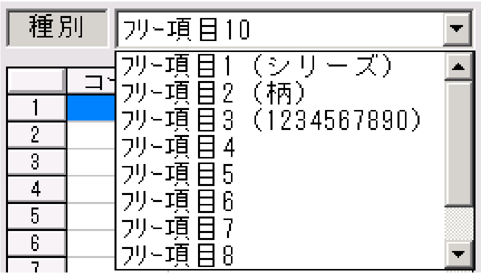
一度削除したマスターを元に戻すことはできません。

操作説明

1. 処理区分の選択
   初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から
   [削除(D)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。

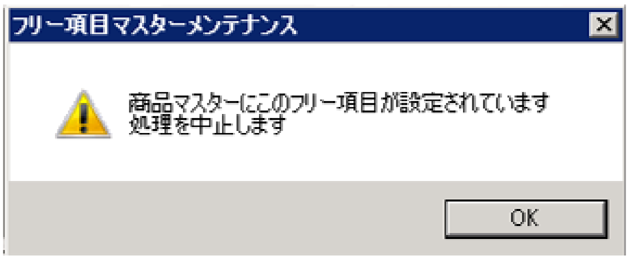


2. 種別の選択
   フリー項目の種別を▼を押して表示される一覧から選択します。
   Ⅰ-14-1 で設定したフリー項目名称が(　)内に表示されます。



3. 削除項目の選択
   削除したい項目を一覧から選択します。フリー項目コード・名称欄に選択したデータが表示されます。
4. 更新ボタン
   削除を実行します。
5. 中止ボタン
   コード選択前に戻します。
6. 終了ボタン
   終了します。

※削除したいフリー項目が商品マスターで使用されている場合は削除できません。

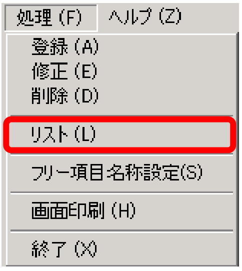


Ⅰ-14-5　フリー項目マスター ［リスト］処理

[リスト]処理説明

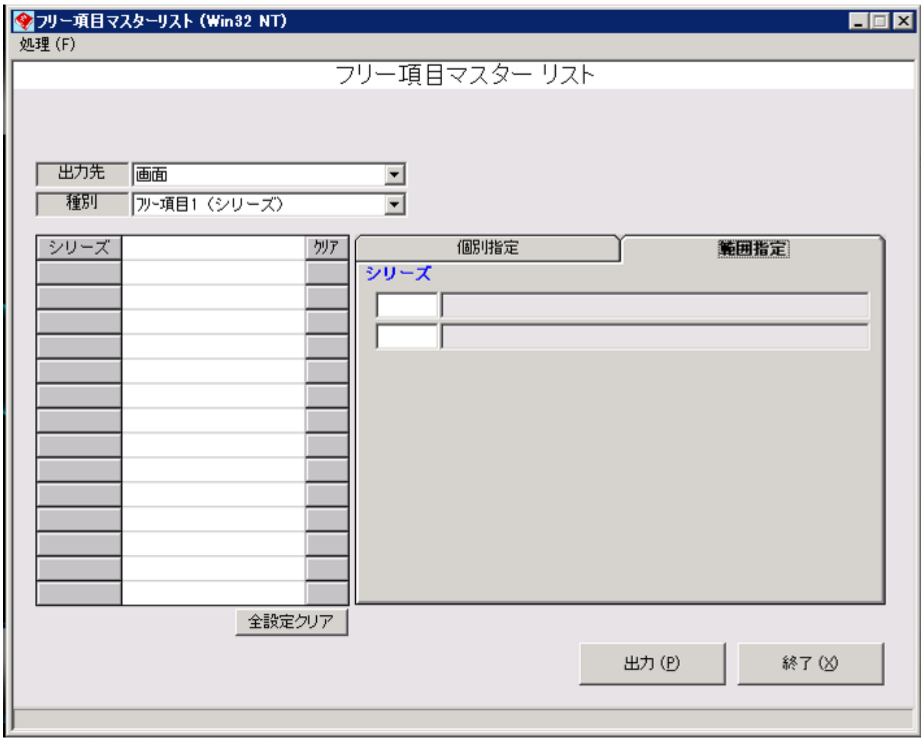
ここではフリー項目のリストについて説明します。

操作説明

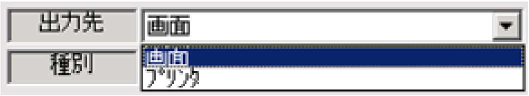


1. 処理区分の選択
   初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から
   [リスト(L)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。

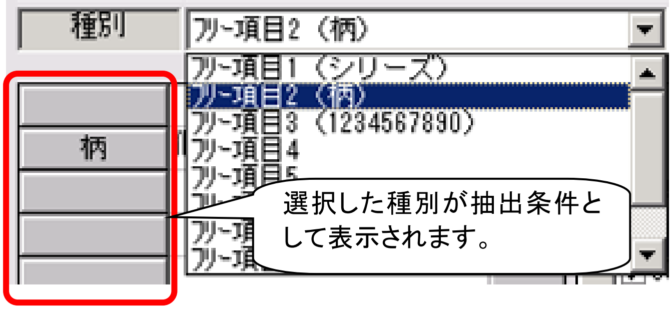
2. フリー項目マスターリスト抽出画面の表示
   抽出画面は以下の画面となります。



3. 出力先の選択
   画面上に表示する「画面」と、
   紙で印刷する「プリンタ」が選択できます。
   PDF ファイルで保存したい場合は
   「画面」を選択します。

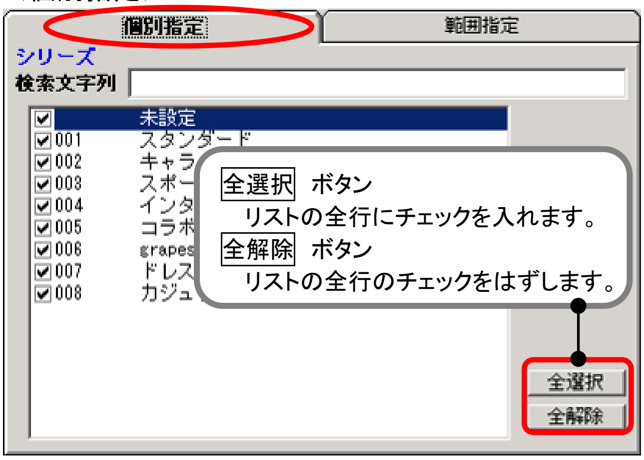


4. 種別の選択
   出力したい種別を選択します。
   選択した種別が下の抽出条件に
   表示されます。

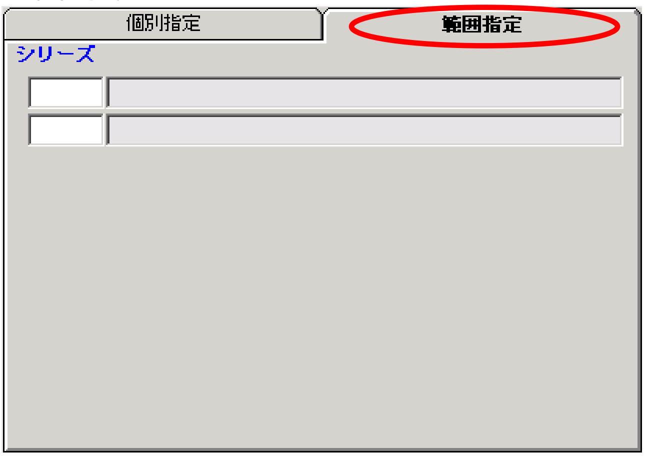


5. 種別で選択したフリー項目の出力するデータの抽出条件を指定します。
   抽出条件を範囲と個別で指定できます。
   未入力の場合明細に存在する全ての項目を対象とします。
   それぞれの項目はタブ操作で、個別指定・範囲指定の切替えが可能です。

＜個別指定＞



＜範囲指定＞



6. 出力ボタン
   リストを出力します。

7. 終了ボタン
   フリー項目マスターリストを終了し、フリー項目マスター画面に戻ります。

＜画面出力＞

画面上に出力したフリー項目マスターリストの上段にある各種機能は以下のとおりです。

- :印刷ボタン。画面に表示されているリストを印刷します。
- :レポートのエクスポート。リストを PDF や Excel ファイルとしてエクスポートします。
- :ページの移動。最初や最後、前後や任意のページに移動できます。
- :テキストの検索。リスト内の文字を検索します。
- :画面倍率の変更。▼から選択、または手入力で変更できます。
- 印刷設定:印刷設定。プリンタなどを設定します。
- 閉じる:リストを閉じます。フリー項目マスターリスト画面に戻ります。